

あべともこニュース

山積する課題に向けて、いざ臨時国会へ

◆環境委員会理事、次代に取り組む

阿部とも子は、今国会より環境委員会に配属され、懸案であった環境問題に取り組むことになりました。

喫緊の環境課題は、やはりPFAS（有機フッ素化合物）問題。これまでも国内外の事を委員会に取り上げ、国を挙げての対策を要求、ようやく水質検査を義務付ける「水質基準」への格上げが検討されることになりました。汚染源は基地周辺だけでなく、工場周辺でも、過去に生産・使用されたり、今も排水中の汚染をどう規制するかが問題です。

水俣病問題も、被害に遭われた方の医療や補償の課題も残っています。また、気候変動も環境省の所管ですが、現在開催されているCOP29でどのような方針が示されるか。過去に化石賞を受賞してしまった我が国は、汚名返上となるか…。温暖化が生命をも危うくしている今日、遅れは許されません。諸課題に実効性のある政策を打ち出すべく頑張ります。



衆議院議員あべともこ
プロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）
当選9回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこども
クリニック（湘南台）理事長
現在、環境委員会
原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
公式X (旧Twitter)
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ事務所
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索



◆反核・平和のために

15日、都立第五福竜丸展示館へ。ここには、1954年にマーシャル諸島ビキニ環礁でアメリカがおこなった水爆実験により被ばくした「第五福竜丸」が展示されています。当時「死の灰」を浴びた乗組員の方は、急性放射線被爆で亡くなったたり原爆症で苦しむ事に。築地でも「原爆マグロ」が大量廃棄されました。核の脅威がすでに知られていたにもかかわらず行われた実験への批判は国内外で起こり、現在の原水禁運動（原水爆禁止日本国民会議）結成につながっています。

この間原発再稼働を進める日本。増え続ける使用済み核燃料ですが、プルトニウムを抽出することで核兵器の製造も可能です。現在プルトニウム保有量は、44.5トン（昨年末）原爆約5500発分にも転用されかねない脅威的な値です。

原爆も原発にも頼らない、反核・平和の社会に実現に向けてできることは、私たち一人ひとりが声を上げていくことです。

◆秋薔薇の県立花菜ガーデンへ

8日、後援会の皆さんと、県立花菜ガーデンに行ってきました。かつての県立農業試験場の跡地で、東京ドーム2個分の広さを誇る広大な庭？なのですが、それが身近な平塚にあるとは梅雨知らず。

先月平塚のライスセンターの視察でガーデンの職員にお会いして、平塚名産のはるみの新米を売っていることを聞きつけて、訪問を計画。皆さんには秋薔薇が良い香りとのこと、花より団子の下心を隠して薔薇を愛でに行くのアナウンス。

ガーデンはフラワーゾーンとアグリゾーンに分かれて、それぞれに学芸員の丁寧な説明があり、超満足！何と年間20万人も来訪者があるそうです。薔薇の歴史や農業の勉強にもなります。皆さんもどうぞ！

